



特集

年末の交通安全県民運動
交通安全功労者等表彰
第58回交通安全子ども自転車愛知県大会
交通死亡事故発生状況
地区の活動



【発行所】

一般財団法人 愛知県交通安全協会
愛知県交通安全活動推進センター
〒462-0021 名古屋市北区成願寺1-6-50
電話 052-981-7587(代表)
ホームページアドレス
<https://www.aichi-ankyo.jp/>



錦秋に抱かれ、 心穏やか安全運転

年末の交通安全県民運動
12月1日(日)から12月10日(火)までの10日間

運動重点

- 歩行者の交通事故防止と
交通ルール遵守の徹底
- 運転者の安全運転意識の向上及び
飲酒運転等の根絶
- 自転車・特定小型原動機付自転車
利用時の交通ルール遵守と
ヘルメット着用の徹底

ストップ・ザ 交通安全 高めようモラル 守ろうルール

寂光院の紅葉(犬山市)

歩行者、自転車利用者も

交通ルールとマナー遵守の徹底を!!

年の瀬が近づくと何かと慌ただしく、運転者や自転車利用者などの注意力も散漫になり、交通事故の多発が心配されます。

また、この時期は日没が早く、運転者の視認性が低くなる時間帯と職場や学校からの帰宅時間が重なり、事故の危険性が高まります。

さらに、忘年会などで飲酒の機会も増え、飲酒運転での交通事故も懸念されます。一方で、歩行者や自転車利用者の法令違反による事故も目立ち、交通ルール遵守の徹底が重要な課題となっています。

そこで、年末の交通安全県民運動では、県民一人一人の交通安全意識を高めるとともに、交通事故の防止に全力を挙げて取り組みましょう。



・横断歩道を渡る、信号機の信号に従うなどの基本的な交通ルールや、「歩きスマホ」の危険性を周知しよう。
・横断歩道では、運転者に意思を明確に伝え、安全確認後に横断する。止まった運転者に会釈で感謝の意を伝える「ハンドアップ運動」の実践を促そう。

歩行者の交通ルール遵守の徹底
・「ゾーン30プラス」(最高速度30km/hの区域規制とハンパや狭さくなどの物理的デバイスを組み合わせ、交通安全の向上を図る区域)の整備など、生活道路の交通安全対策を推進しよう。



歩行者の交通事故防止対策
・反射材用品、LEDライト、明るく目立つ色の服装などの視認効果の周知と自発的な着用を促そう。

運動重点
歩行者の交通事故防止と交通ルール遵守の徹底

飲酒運転四ない運動を徹底しよう

運転者は

- ・運転するなら酒を飲まない
- ・酒を飲んだら運転しない

家庭・地域では

- ・運転する人に酒をすすめない
- ・酒を飲んだ人に運転させない

飲酒運転の根絶
・飲酒運転を絶対にしない社会環境醸成のため「飲酒運転四(し)ない運動」の徹底や「ハンドルキーパー運動」を促進しよう。

運転者の安全運転意識の向上
・夕暮れ時の自動車・自転車前照灯の早めの点灯を促す「ライト・オン運動」や、夜間の対向車がない状況でのハイビームの活用を推進しよう。
・子どもや高齢者等を見掛けたら、速度を落とす「思いやり運転」を推進しよう。
・横断歩道の標識や表示(ダイヤマーク)を見たら、速度を落とし、横断者の有無を確認し、いる場合は必ず一時停止をする「横断歩道における歩行者優先」の徹底を図ろう。

運動重点
運転者の安全運転意識の向上及び飲酒運転等の根絶





表彰式

愛知県警察本部と当協会は、長年にわたり交通安全の推進に貢献された県内の団体や個人の皆様をたたえ、その表彰式を9月19日(木)、名古屋市公安局で開催しました。

警察本部長と当協会会長連名の交通安全功労者等表彰及び警察本部長の交通安全奉仕顕賞「功労金章」を

団体や個人に、それぞれ鎌田徹郎愛知県警察本部長、毛利有伸会長から贈呈しました。

また、全日本交通安全協会会長の交通安全荣誉賞「緑十字銅章」が、交通安全功労者、優良安全運転管理者及び優良自動車運転者の皆様に伝達されました。

交通安全功労者等表彰

- 交通安全功労団体
44団体
- 交通安全優良校
44校
- 交通安全功労者
97人
- 優良自動車運転者
263人

交通安全奉仕顕賞「功労金章」

77人

交通安全荣誉章「緑十字銅章」

382人

交通安全推進に貢献した個人、団体を表彰

令和6年交通安全功労者等及び交通安全奉仕顕賞表彰

高齢運転者の交通事故防止対策

・加齢等に伴う身体機能の変化が運転に影響が及ぶこともある高齢運転者へ「安全運転相談窓口」(＃8080)の周知や運転免許証の自主返納制度などを広報啓発しよう。

妨害運転等の防止対策

・悪質・危険な運転防止のため、「思いやり・ゆずり合い」運転の必要性を広報啓発しよう。

後部座席を含めた全ての座席のシートベルト着用とチャイルドシート

の正しい使用の徹底

・「カチッと100!」を合言葉に、全ての座席のシートベルト、チャイルドシート

着用を推進しよう。

二輪車の交通事故防止対策

・乗車用のヘルメットの正しい着用やプロテクターの着用を広報啓発しよう。

運動重点

自転車・特定小型原動機付自転車利用時の交通ルール遵守とヘルメット着用の徹底

自転車の交通ルール遵守の徹底と新たなルール(ながらスマホ及び酒気帯び運転の禁止の厳罰化)の周知

・「自転車安全利用五則」に則った通行方法の周知と徹底を推進しよう。

・信号遵守、交差点での一時停止・安全確認のほか、夜間の無灯火走行、飲酒運転、二人乗り・並進の禁止など基本的な交通ルールの徹底や、傘差しなどでの片

手運転、イヤホン使用での運転などの危険性の周知を図ろう。

自転車利用者の乗車用ヘルメット着用と安全確保

・全ての自転車利用者の乗車用ヘルメット着用の徹底に向けた広報啓発をしよう。



・夕暮れ時の早めの点灯と反射材用品等の取付けを推進しよう。

・自転車の定期点検整備や損害賠償責任保険等への加入を促進しよう。

特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底

・16歳未満の運転禁止や車道通行の原則の周知徹底を図り、乗車用ヘルメット着用を推進しよう。

名古屋タクシー協会

会長 天野 清美 副会長 石川 優
副会長 浅野 丈夫 専務理事 多田 直紀
常務理事 伊村 伸一

〒466-8558 名古屋市昭和区滝子町30番16号 ☎ 052-871-0601

見て、触れて
楽しく交通安全

交通博

家族連れなど、みんなで楽しみながら、交通安全意識を高める「交通博」が県内3か所で開催されました。秋空の下、ゲームやステージでのショーなど、様々な催しを通し、交通安全への想いを新たにしました。



似顔絵コーナー



愛知県警察音楽隊コンサート



サポカー同乗体験



交通安全射的ゲーム



子ども免許証プレゼント



歩行環境シミュレーター



シートベルト効果体験機

9月15日(日) あいち自動車学校

北区交通博



シニアカー体験試乗



光ヶ丘女子高等学校の吹奏楽演奏



岡崎女子大の演劇&ボランティア



交通安全シュプレヒコール



踏み間違え・衝突防止アシスト体験



サポカー試乗体験



白バイライダースクール

9月15日(日) 岡崎自動車学校

交通博 in 岡崎



交通安全教室



金剛幼稚園鼓笛隊演奏



交通安全約束手形プレゼント



パトカーの展示



お楽しみ緑日ゲーム



一宮北高校和太鼓演奏



スタンプラリー

9月22日(日) 一宮自動車学校

交通博 138

いちのみや



交通安全の願いを込めて

地区の活動特集

夕暮れ時のランニングで 反射材の活用を呼び掛け

港区交通安全協会



▲隊列を組んで走る参加者
▼配布した反射材付きストラップ



宵闇迫る中、反射材を着用した40人が隊列を組んで街中をランニング。通り掛かりの人たちに反射材付きストラップやチラシを配りながら、交通事故防止を訴えました。

港区交通安全協会では、夕暮れ時の交通事故が懸念される季節を迎え、「ナイト・ライトラン作戦」を実施。区内の5コース5kmほどを2時間かけて走りました。続々と連

も交通事故に十分注意します。友人にも話します。」と共感の声を掛けられ、効果も十分。交通事故防止に向け、とてもいい汗を流すことができました。

なる走者の列に、家路につき学生や会社員、散歩中の高齢者、買い物途中の主婦など、道行く人たちが思わず注目。ストラップなどを手渡され、夕方の方の外出時の交通事故への注意などに、思いを新たにしました。

犬と散歩中の高齢者夫妻から「苦労様。今も反射材を付けていますが、これからも交通事故に十分注意します。」

自身の写真などを入れた、 反射材キーホルダーを配布

愛知県交通安全協会中支部



▲出来上がったキーホルダーに
嬉しそうな家族連れ

◀オリジナル写真
入りキーホルダー

中支部では交通事故防止に反射材の活用を呼び掛けるイベントをナディアパークで開催。一日警察署長の武士殿こと山本卓弥さんとのトークショーなどに多くの人が訪れました。

中でも好評だったのは、好みの写真をはめ込んだ反射材付きキーホルダーの配布。家族連れなど来場者がスタッフに写

真を撮ってもらい、それらを使ってオリジナルのキーホルダーを作成し、身に付けてもらうというもの。お気に入りのキャラクターやペットの写真を持参する人もいます。各々が楽しい一品となりました。

「かわいい！カバンに付けてよ。」「ランドセルに付けたい。」「(孫の写真入りで)おじいちゃんにプレゼントしたい。」など、様々な想いで、みんな満足そう。キラッと光る交通事故防止の企画となりました。

いつでも どこでも



JAF

一般社団法人 日本自動車連盟 中部本部

〒466-8580 名古屋市昭和区福江3-7-56 ☎ 052 (872) 3867

一般財団法人 日本自動車査定協会 愛知県支所

支所長 大森 治



中古車査定的一般財団法人です。車両資産の評価、事故車両の減価額、係争車両の価格証明など、お気軽にご相談ください。

〒466-8558 名古屋市昭和区滝子町30-16 TEL (052) 882-5381

団体で野並小が初優勝

第58回交通安全子ども自転車愛知県大会



愛知県大会での競技

自転車走行をしなから、手信号をしつかり横に伸ばしたり、狭い幅の走路から外れないよう懸命にハンドルを操作。子どもたちが会場に設けられた様々な規定走路を、ルールを守りながら安全走行を競いました。

当協会は小学生の安全な自転車利用と交通ルールの理解を深めることを目指した、第58回交通安全子ども自転車愛知県大会を7月23日(火)に名古屋国際展示場(ポルトメッセなごや)で開催しました。

大会には県内14小学校、4交通少年団・子ども会の18チーム72人が参加し、学科と実技のテストに取り組みました。

どの選手も、日ごろから積み重ねた

全国大会で6位入賞



全国大会で健闘する野並小選手

野並小は8月7日(水)、東京ビッグサイト(東京都江東区)で開催された第56回交通安全子ども自転車全国大会に初出場。42チームの中、見事6位に入賞しました。



全国大会で6位入賞した野並小チーム

技能を十分に発揮し、熱のこもった競技を繰り広げた結果、団体では名古屋市立野並小学校が優勝、碧南市立西端小学校が準優勝、岡崎市立竜美丘小学校が3位となりました。

優勝を喜ぶ野並小の子どもたちの横で、目を潤ます指導員らの姿も。「練習道具の手作りや、場所の確保から始まり、みんなの協力で成し遂げられました。」「けがに配慮して練習し、元気に競技できー安心。」「高い意識を保つようにとの励ましに添えてくれました。」と、みんなとても満足そうでした。

動かそう！反射材

夕暮れ以降、暗くなると、運転者の視認性が低下し、歩行者の発見が遅れがちとなり、交通事故の危険性が高まります。歩行者が反射材を着用することで、運転者からの確認が容易になり、事故防止につながります。

反射材は身に付けた上、それを積極的に動かすことで、視認性は一層高まります。運転者の視野角度は正面から左右100度程度ですが、注視していない視界の中でも、明暗の変化や動くものは敏感に感じ取ると言われています。そこで、反射材は歩行中に大きく動く、腕や靴の側面などに付けると運転者が発見しやすくなります。ちよつとの工夫で、身をより安全に守りましょう。





県警だより

令和6年11月1日施行

自転車の 酒気帯び運転 及び

携帯電話使用等に

新たに罰則が整備されました。

自転車運転者講習の対象となる自転車危険行為にも追加されました!
※14歳以上が対象

酒気帯び運転

罰則

違反者

3年以下の懲役
又は50万円
以下の罰金



罰則

自転車の 提供者

3年以下の懲役
又は50万円以下の罰金

罰則

酒類の提供者・同乗者

2年以下の懲役
又は30万円以下の罰金

携帯電話使用等



罰則

違反者

6月以下の懲役又は
10万円以下の罰金

罰則

交通の危険を 生じさせた場合

1年以下の懲役又は
30万円以下の罰金



大好評! 学生キャンペーン実施中!!

免許取得のお問い合わせ、お申し込みは、

あいち自動車学校 0120-433-554

名古屋市北区成願寺1-6-50

一宮自動車学校 0120-816-138

一宮市島村字下老光寺120番地

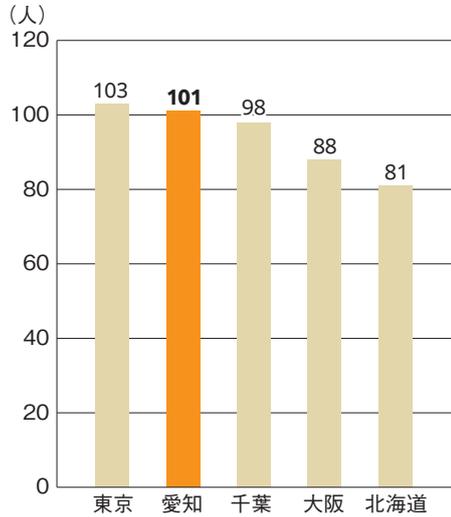
岡崎自動車学校 0120-183-051

岡崎市不吹町14

全国ワースト2位

愛知県内の交通死亡事故発生状況 (令和6年9月末現在)

■都道府県別交通事故死者数(9月末まで)

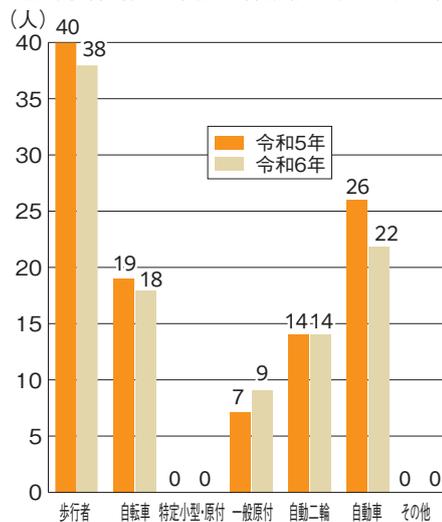


全国ワースト2位で最上位とはわずかな差しかない状況です。慌ただしい年末に向け、一層の交通事故防止が望まれます。

都道府県別交通事故死者数

前年比5人減ながら
1000人超え

■当事者別交通事故死者数(愛知県、9月末まで)

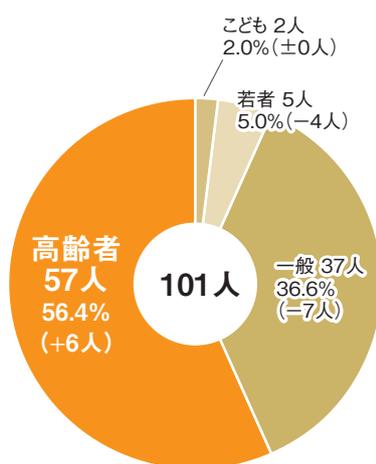


歩行者が38人、全体の37.6%を占めています。自転車の18人、17.8%と合わせると5割を超え、交通弱者の被害が非常に高くなっています。

当事者別交通事故死者数

歩行者が多発

■年齢層別交通事故死者数
(愛知県、9月末まで)



高齢者が57人、全体の56.4%を占めています。若者、一般が昨年同期より減少している中、高齢者は6人増で、引き続き、高齢者の交通事故防止対策が重要です。

年齢層別交通事故死者数

高齢者が多発、増加



▲一日警察署長の夏日みな美アナウンサーが園児と交通安全キャンペーン(西批札島)



▲武豊町駅で交通少年団の交通安全啓発活動(半田)



▲「自転車ヘルメット着用促進モデル校」で交通安全啓発キャンペーン(津島)



▲高校前でサイン板を掲げ立哨活動(中村)



▲サイン板を掲げて横断歩行者保護を呼び掛け(春日井)



▲安全意識向上及び飲酒運転根絶キャンペーン(足助)



▲国道で立哨活動(豊橋)



▲一日警察署長の大関琴櫻関が交通事故抑止キャンペーン(西)



▲「バイクの日」オリジナルステッカーを作成し、ライダーに配布(田原)



▲市内一斉大監視(碧南)



▲高校で特定小型原動機付自転車の実機展示等交通安全講座(東)



▲大学生を対象にライダースクールの開催(犬山)



▲スーパーマーケットで交通安全啓発活動(岡崎)



▲キャンプ場等来場者へ飲酒運転根絶を呼び掛け(守山尾張旭)



▲一日警察署長の王鵬関が園児らと交通安全キャンペーン(稲沢)



▲交通大監視(岡崎自動車学校)